

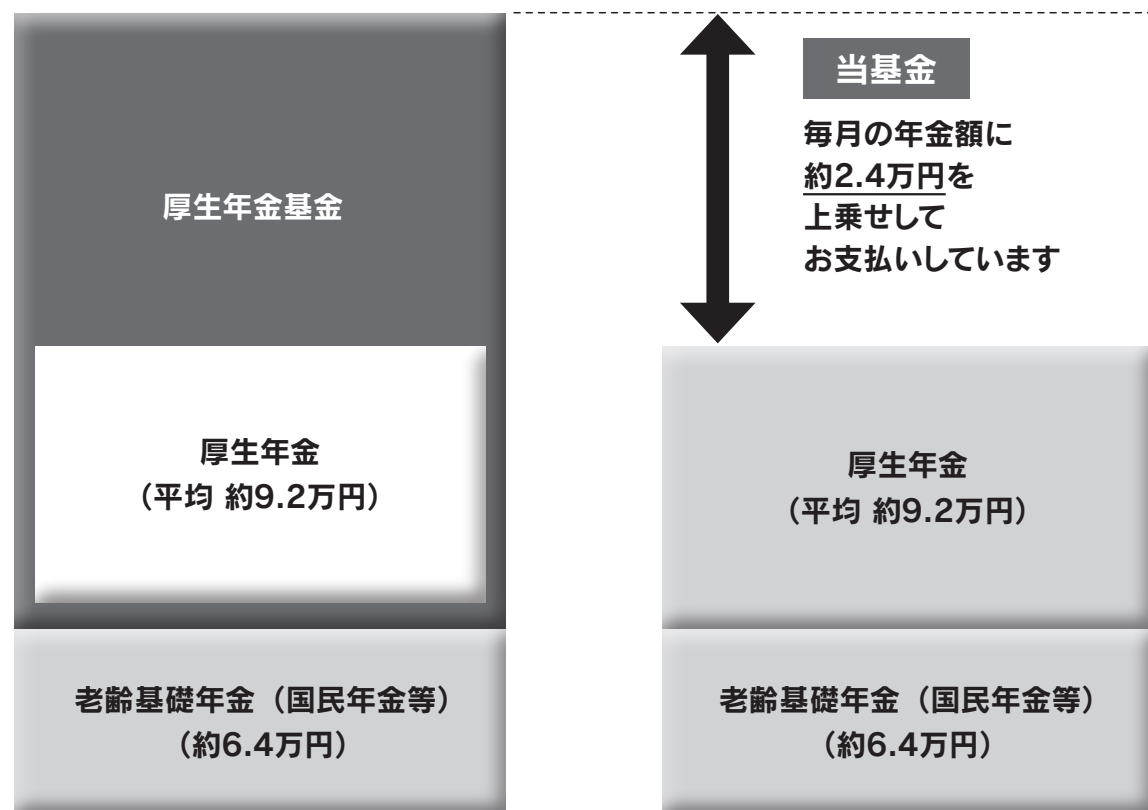
「代行返上を踏まえた 検討事項等について」の 勉強会が開催されました

平成26年8月7日（木）及び19日（火）に、当基金において、理事及び代議員により、下記をテーマにした勉強会が開催されました。

- ①厚生年金基金制度とは
- ②厚生年金基金制度の見直し法を踏まえた選択肢について
- ③平成25年度決算予測を踏まえた新制度の設計概要について
- ④今後のスケジュール等について

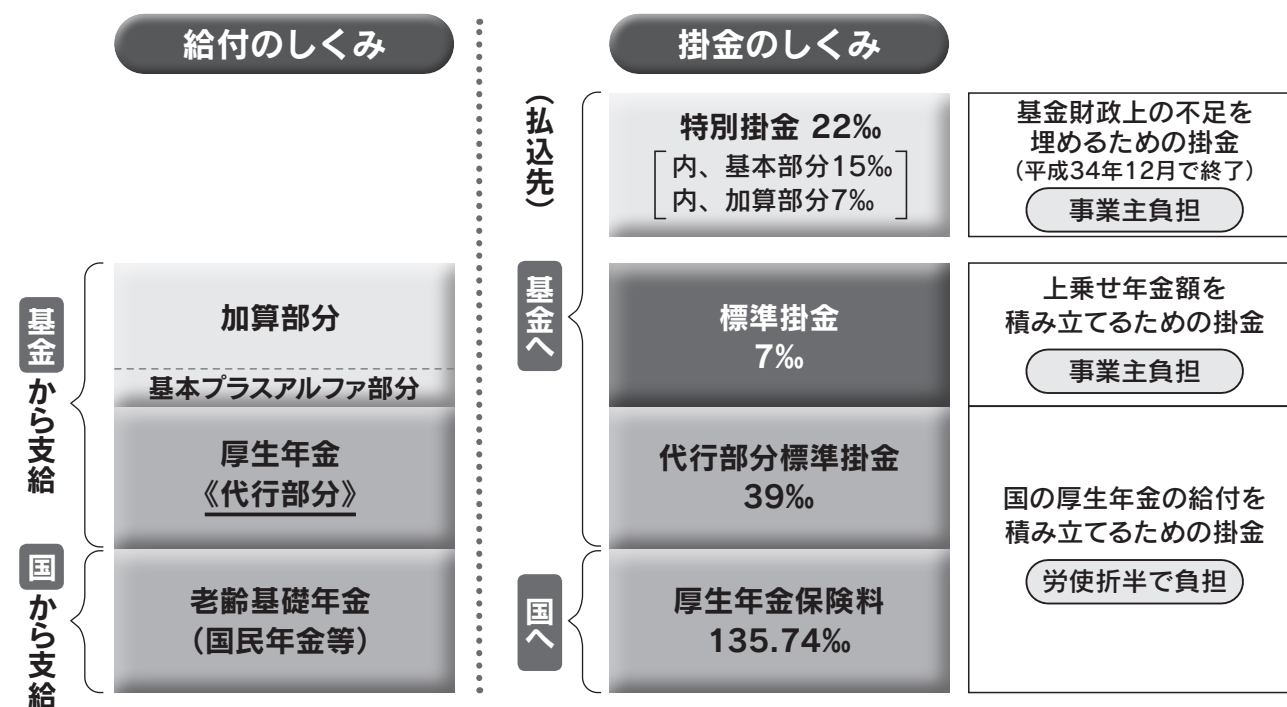
厚生年金基金制度とは

厚生年金の年金額に上乗せしてお支払いするための基金制度です。



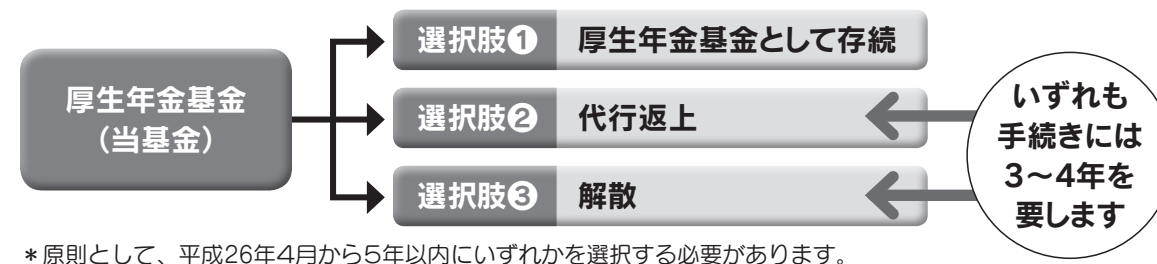
※上乗せ部分の金額は、40年加入・平均給与33万円を前提としています。
老齢基礎年金・厚生年金は厚生労働省が示すモデル額を記載しています。

掛金と給付



厚生年金基金制度の見直し法を踏まえた選択肢について

当基金は代行返上の方で検討をすすめています。



平成25年度決算予測を踏まえた新制度の設計概要について

新制度を設計するには、大きく分けて次の3つの事項を決める必要があります。

- ① 予定利率の水準
- ② 掛金の水準
- ③ 給付水準と内容

*『給付＝掛金＋予定運用収益』となるように設計を行う必要があり、上記3つの要素はトレードオフの関係になっています。
*これらの事項は、新制度移行時の直近決算をもとにした財政計算により、最終的に確定します。

※トレードオフとは、一方を追求すれば他方を犠牲にせざるを得ないという関係のことをいいます。したがって、この3つの要素の長所と短所をすべて考慮したうえで、決定することになります。

今後のスケジュール等について

平成26年9月 理事会・代議員会 新制度の設計概要を提案予定

平成26年12月 臨時代議員会 新制度の設計概要を踏まえて、代行返上方針を決定予定

* その後のスケジュール等については、12月の臨時代議員会で決定する予定です。